

※今月のみ受注の書目です。

社会学／精神医学 ご担当者さま

「死にたい」とつぶやく 座間 9 人殺害事件と親密圏の社会学



(2022 年 12 月中旬刊行予定)

中森弘樹 (立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科准教授) [著]

四六判並製／328 頁 税込予価 1,980 円 ISBN978-4-7664-2818-6 C0036

👉 ココに注目！

- ・ SNS に溢れかえる「死にたい」の言葉——。
- ・ 私たちは、「死にたい」と言動する人たちといかに向き合えばよいのか？
- ・ 気鋭の社会学者が座間 9 人殺害事件と「死にたい」を読み解く。

2017 年、日本中に大きな衝撃を与えた「座間 9 人殺害事件」。この事件は、その特徴として被害者の多くが Twitter 上で「死にたい」とつぶやく、失踪していたこともクローズアップされた。本書では、事件の概要・背景について詳細な考察を行うとともに、こうした「死にたい」と言動する人々に対して、日本社会がいかに向きあうべきかを、気鋭の社会学者が「親密圏」をキーワードに読み解いていく。

対象 東畑開人『居るのはつらいよ』(医学書院)

【営業部からのおすすめポイント】

「死にたい」ということ、いわゆる希死念慮をテーマとした書籍は、『もしも「死にたい」と言われたら』(中外医学社)など臨床心理学の分野で数多く刊行されているかと思います。本書とこれらの既刊書の違いとしては、「死にたい」と言動する人たちに対し「“個人”としてどう対応すべきか」だけでなく、「“社会”としてどう彼 / 彼女たちと向き合うべきか、居場所を確保するのか」を考える点にあります。

(乙子)

👉 主要目次、注文書 & 著者既刊を裏面に掲載！ ぜひご確認ください！

【刊行記念フェア企画!!】

[タイトル]「死にたい」と向きあう

[概要] 座間事件以降も、SNS に自殺願望を書き込むことを発端とした事件は断続的に発生している。なぜ、近しい人物へ相談するのではなく、SNS へ書き込むのか？

何を求めて書き込むのか？ 日本社会に潜む問題を考えるのに役立つ書籍を紹介します。

※下記のブックリストは選書の一部です。(最終的には 30 冊程度まで増やします)。

	書 名	著 者	出版社	刊行年
1	失踪の社会学	中森弘樹【著】	慶應義塾大学出版会	2017
2	ルポ 座間 9 人殺害事件	渋井哲也【著】	光文社新書	2022
3	冷酷 座間9人殺害事件	小野一光【著】	幻冬舎アウトロー文庫	2021
4	「死にたい」に現場で向き合う	松本俊彦【編】	日本評論社	2021
5	もしも「死にたい」と言われたら	松本俊彦【著】	中外医学社	2015
6	自傷・自殺する子どもたち	松本俊彦【著】	合同出版	2014
7	「死にたい」「消えたい」と思ったことがあるあなたへ	河出書房新社【編】	河出書房新社	2020
8	インターネットは自殺を防げるか	末木新【著】	東京大学出版会	2013
9	居るのはつらいよ	東畑開人【著】	医学書院	2019
10	孤独と居場所の社会学	阿比留久美【著】	大和書房	2022



ご注文は FAX で！ 03－3451－3124



新刊委託	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会 中森弘樹 著 「死にたい」とつぶやく —座間 9人殺害事件と親密圏の社会学 I S B N 9 7 8 - 4 - 7 6 6 4 - 2 8 1 8 - 6 C 0 0 3 6	税込予価	部数
				1,980 円	★★★★ ★★★★

著者既刊（ぜひ併せてご注文ください!）

日本社会病理学会学術奨励賞（出版奨励賞）、日本社会学会第 17 回奨励賞受賞。

返品条件付注文品	番線	ご注文部数	中森弘樹 著 失踪の社会学 —親密性と責任をめぐる試論 I S B N 9 7 8 - 4 - 7 6 6 4 - 2 4 8 1 - 2 C 3 0 3 6	定価(税込)
			発行所：慶應義塾大学出版会	4,620 円

★1つで「500 部」を表します